

平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	障害者文化芸術活動振興事業			担当部局庁	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部			作成責任者
事業開始年度	平成13年度	事業終了(予定)年度	平成28年度	担当課室	企画課自立支援振興室			道鉢 正成
会計区分	一般会計			政策・施策名	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	障害者基本計画、「障害者芸術・文化祭の開催について」(平成13年5月31日障発第241号厚生労働省社会援護局障害保健福祉部長通知)、「障害者の芸術活動支援モデル事業の実施について」(平成26年5月13日障発0513第1号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知)			
主要政策・施策	障害者施策			主要経費	社会保障			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	障害者の芸術及び文化活動への参加を通じて、障害者の生活を豊かにするとともに、国民の障害への理解と認識を深め、障害者の自立と社会参加の促進に寄与することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1. 障害者芸術・文化祭開催事業(定額:10/10) 全ての障害者の芸術及び文化活動への参加を通じて、障害者の生活を豊かにするとともに、国民の障害者への理解と認識を深め、障害者の自立と社会参加の促進に寄与することを目的とする。 2. 障害者文化芸術活動支援事業(定額:10/10) 芸術活動を行う障害者及びその家族並びに福祉事業所等で障害者の芸術活動の支援を行う者を支援するモデル事業を実施し、その成果を普及することにより障害者の芸術活動の支援を推進することを目的とする。							
実施方法	補助							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	91	91	132	126	170	
	執行額	91	91	123	-	-		
執行率(%)	100%	100%	93%	-	-			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 28年度	
	障害者芸術・文化祭開催事業は、事業の目的において「国民の障害への理解と認識を深める」としており、障害者芸術・文化祭の来場者数が前年度を上回ることが成果目標である。	障害者芸術・文化祭の来場者数	成果実績	人	21,200	11,000	43,276	-
			目標値	人	-	10,000	11,000	13,000
			達成度	%	-	110%	393%	-
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 28年度	
	障害者文化芸術活動支援事業は、事業の目的において「モデル事業を実施し、その成果を普及することにより障害者の芸術活動の支援を推進すること」としており、本事業の採択団体数が前年度を上回ることが成果目標である。	障害者文化芸術活動支援事業の採択団体数	成果実績	団体	-	-	5	-
			目標値	団体	-	-	5	9
			達成度	%	-	-	100%	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	芸術・文化祭の出品数	活動実績	作品	676	688	3,577	-	
		当初見込み	作品	-	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	展示会の出品数	活動実績	作品	-	-	1,102	-	
		当初見込み	作品	-	-	-	-	

単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト=X/Y								単位当たりコスト
	X:芸術・文化祭の開催費用 Y:芸術文化祭の参加者数			計算式	X/Y	52,269,417 /21,200	35,709,665 /11,000	253,235,079 /43,276	-
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	単位当たりコスト=X/Y								単位当たりコスト
	X:障害者文化芸術活動支援事業実績額 Y:展示会の来場者数			計算式	X/Y	-	-	91,188,492 /18,055	-
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	障害者芸術・文化祭開催事業	29	50	「新しい日本のための優先課題推進枠」56					
	障害者文化芸術活動支援事業	97	120						
計	126	170							

事業所管部局による点検・改善

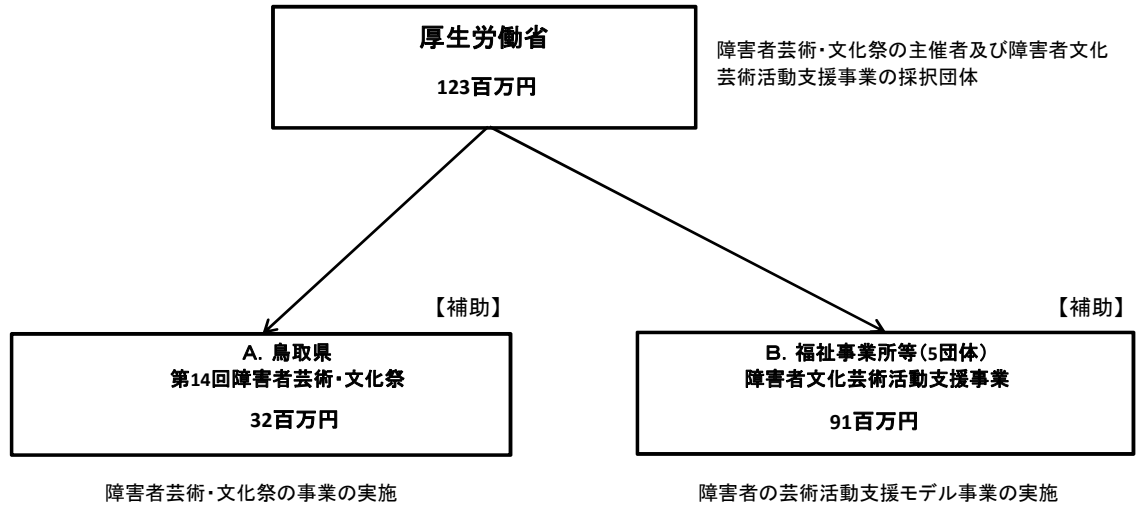
項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	障害者の芸術及び文化活動へ参加できる環境を整備することにより、障害者の社会参加に寄与している。また、障害者文化芸術活動支援事業は、障害者の芸術活動の支援をモデル的に実施し、その成果の全国的な普及を図るものであるため、国費を投入しなければ目的が達成できない事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	障害者基本法においては、「国は、障害者が円滑に文化芸術活動、スポーツを行うことができるようにするため、施設、設備その他諸条件の整備、文化芸術、スポーツ等に関する活動の助成その他必要な施策を講じなければならない」とされている。また、障害者文化芸術活動支援事業は、障害者の芸術活動の支援をモデル的に実施し、その成果の全国的な普及を図るものであるため、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	障害者基本計画においては、「障害者芸術・文化祭や全国障害者スポーツ大会の開催を通じて、障害者の文化芸術活動、スポーツの普及を図るとともに、民間団体が行う文化芸術活動、スポーツ等に関する取組を支援する。」とされており、国費による政策目的達成のための優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	△	障害者文化芸術活動支援事業については、実施団体を公募し、外部有識者から構成される評価委員会の評価を踏まえた上で実施団体を選定していることから妥当である。
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	障害者文化芸術活動支援事業については、外部有識者から構成される評価委員会により、事業内容や事業に要する経費の精査を行っていることから妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	障害者芸術・文化祭開催に要する会場借料などの必要な経費のみが事業費として計上されている。また、障害者文化芸術活動支援事業については、外部有識者から構成される評価委員会により、事業内容や事業に要する経費の精査を行っている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	○	障害者芸術・文化祭開催事業については、開催地都道府県に対して定額で補助を行っているが、開催地都道府県が事業の趣旨に賛同し、創意工夫の中で補助額を大幅に上回る開催費用を基に充実した事業内容が行われている。また、障害者文化芸術活動支援事業については、外部有識者から構成される評価委員会により、事業内容や事業に要する経費の精査を行っている。
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	○	障害者芸術・文化祭開催事業については、目標値を上回る人数の来場があり、来場者数が前年度を上回っていることから、成果実績は成果目標に見合ったものといえる。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	障害者文化芸術活動支援事業は、3年間を目標に障害者の芸術活動の支援をモデル的に実施し、その成果の全国的な普及を図るものであり、その成果物は福祉事業所等において活用される。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	○障害者芸術・文化祭開催事業については、事業の性格上、開催地都道府県に対して定額で補助を行っており、執行率、その水準に鑑みても適切な支出となっている。 ○障害者文化芸術活動支援事業についても、適正かつ効率的な執行を行うため、外部有識者から構成される評価委員会により、事業内容や経費についての精査を行った上で選定し、適切な支出を行っている。	
	改善の方向性	○当該事業は、毎年度、開催地都道府県ごとに交付決定・交付額の確定を行い、事業計画及び事業実績について確認している。引き続き、国民の障害への理解と障害者の文化芸術活動の振興を深める取組を推進するとともに、適正かつ効率的な執行に努めている。	
外部有識者の所見			
点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
現状通り	引き続き、国民の障害への理解と障害者の文化芸術活動の振興を深める取組を推進を図るために必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
現状通り	-		
備考			

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	505	平成23年度	458	平成24年度	401	
平成25年度	760	平成26年度	758			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.鳥取県			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	障害者芸術・文化祭開催経費	32			
計		32	計		0
B.社会福祉法人グロー			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
給与・諸手当	担当職員給与・諸手当	9			
報酬	非常勤職員給与・諸手当	3			
旅費	巡回訪問・実行委員会・連絡会議等	1			
需用費	事務用消耗品・展示会ポスター、チラシ等	2			
役務費	ポスター、チラシ作成手数料等	4			
委託費	展示会場設営委託等	3			
その他	共済費、会議費、備品購入費等	2			
計		24	計		0

支出先上位10者リスト

A.					
	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	鳥取県	障害者芸術・文化祭の開催	32	—	—
B					
	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社会福祉法人グロー	障害者芸術活動支援センター及び協力委員会の設置、調査・発掘、評価・発信、モデル事業連携事務局の設置	24	—	—
2	一般財団法人たんぽぽの家	障害者芸術活動支援センター及び協力委員会の設置、調査・発掘、評価・発信	20	—	—
3	社会福祉法人愛成会	障害者芸術活動支援センター及び協力委員会の設置、調査・発掘、評価・発信	20	—	—
4	特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン	障害者芸術活動支援センター及び協力委員会の設置	15	—	—
5	特定非営利活動法人コミュニティーリーダーひゅーるぼん	障害者芸術活動支援センター及び協力委員会の設置	12	—	—